



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2025-2026年度

第二回キャビネット会議議事録



日時：2025年11月8日（土）

場所：アクア・ベルくしろ

釧路市栄町8丁目3番地

TEL：0154-25-7020



2025-2026 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

釧路キャビネット

国際会長

L. A. P. シン

Arvinder Pal Shin

国際テーマ

【We Serve (われわれは奉仕する)】

国際会長メッセージ

【Lead to Serve, Serve to Lead.】

(リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。)

地区ガバナー

L. 大島 尚久

地区ガバナースローガン

【 豊かな地域づくりに獅子奮迅 】

◆釧路キャビネットピンバッヂ ◆ コンセプト



釧路川に架かるぬさまい橋から、港を臨むと世界三大夕日が見るものを圧倒し、目を移すと漁船が満を持して出港しようとしています。大漁でありますように！

さあ釧路キャビネットも ^{もやい} 船を解いていよいよ出航です。

第二回キャビネット会議出席者名簿

キャビネット構成員(投票権を有す)			
	役 職	氏 名	出欠
1	地区ガバナー	L. おおしま なおひさ 大島 尚久	○
2	第一副地区ガバナー 地区LCIF副コーディネーター 長期計画リサーチ副委員長	L. ひろせ ひろと 広瀬 寛人	○
3	第二副地区ガバナー 長期計画リサーチ副委員長 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会委員長	L. やなぎさわ ゆたか 柳澤 豊	○
4	前地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員長	L. いとう たかし 伊東 隆志	○
5	地区名誉顧問会議長 長期計画リサーチ委員長	L. なかや よしお 中谷 宣巨	○
6	キャビネット幹事(全般) 長期計画リサーチ委員長	L. きむら ひろゆき 木村 宏幸	○
7	キャビネット会計(広報)	L. おおつ こうぞう 大津 幸三	○
8	地区GMT コーディネーター	L. やぶき さだお 矢吹 定夫	○
9	地区GET コーディネーター	L. むらやま あきら 村山 聰	○
10	地区GLTコーディネーター 長期計画リサーチ委員長 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会副委員長	L. しょうじ やすたか 小路 泰孝	○
11	地区GST コーディネーター	L. さくらい まさと 櫻井 正人	○
12	地区LCIF コーディネーター	L. さかもと ひとし 坂本 齊	○
13	地区WYPT コーディネーター	L. きのした ひろゆき 木下 裕幸	○
14	第1R第1Z ゾーン・シェアパーソン	L. わたべ こうじ 渡部 候司	×
15	第1R第2Z ゾーン・シェアパーソン	L. はせ がわまつみ 長谷川松美	○
16	第2R第1Z ゾーン・シェアパーソン	L. さとう としひろ 佐藤 利博	○
17	第2R第2Z ゾーン・シェアパーソン	L. たなか かおり 田中 香織	○
18	第3R第1Z ゾーン・シェアパーソン	L. おおくま ひでゆき 大熊 秀之	○
19	第4R第1Z ゾーン・シェアパーソン	L. はしもと しゅうじ 橋本 修司	○
20	第4R第2Z ゾーン・シェアパーソン	L. ささ きたかひろ 佐々木隆博	×
21	第4R第3Z ゾーン・シェアパーソン	L. おかや しげかつ 岡谷 繁勝	○
22	第5R第1Z ゾーン・シェアパーソン 第5R 地区MIT・YCE委員	L. かんとう まさひろ 関東 正浩	○
23	第5R第2Z ゾーン・シェアパーソン	L. いとう みつたか 伊藤 光隆	○
24	地区大会委員長	L. たかせ つとむ 高瀬 力	○
25	会則・コンプライアンス 委員長	L. たかはし てつや 高橋 哲也	○
26	国際大会・国際協調・ LCIF委員長	L. いしだけんたろう 石田健太郎	○
27	献血・献眼・薬物防止 委員長	L. さいとう しゅうじ 齋藤 修嗣	○
28	レオ・青少年委員長	L. ふじい よしかず 藤井 芳和	○
29	YCE委員長	L. のでらかずし 小野寺一史	○
30	M・IT委員長	L. うめだ きんや 楢田 欣也	○
31	オセアルフォーラム 特別委員長	L. すぎもと たかひで 杉本 隆英	○
32	平和ボスター・コンテスト 委員長	L. よしおか こうじ 吉岡 幸二	○
33	アラート委員長	L. あさの けいいち 浅野 敬一	○

キャビネット地区委員			
	役 職	氏 名	出欠
1	(職務代行)第3R第2Z ゾーン・シェアパーソン	L. かがわ としお 香川 俊雄	×
2	地区GMT 副コーディネーター	L. おおた よしhiro 太田 好啓	×
3	地区GET 副コーディネーター	L. いしだ うがん 石田十羽完	○
4	地区GLT 副コーディネーター	L. うめだ みき 梅田 三樹	○
5	地区GST 副コーディネーター	L. かわひと まさかず 川人 正和	○
6	地区WYPT 副コーディネーター	L. くまがい かずゆき 熊谷 一行	○
7	地区大会事務局長	L. ふるや たひこ 古谷 龍彦	×
8	地区大会事務局次長	L. あおき ひでのみ 青木 秀史	○
9	地区大会事務局次長	L. あべ まさかず 阿部 将和	×
10	会則・コンプライアンス 副委員長	L. にしけ さとし 西池 幸	○
11	国際大会・国際協調・ LCIF副委員	L. ささき りょううち 佐々木良吉	○
12	献血・献眼・薬物防止 副委員長	L. みやきた こうえつ 宮北 晃悦	○
13	レオ・青少年副委員長	L. せいの よしあき 清野 芳明	×
14	YCE副委員長 アラート副委員長	L. さとう ひでかず 佐藤 豪一	×
15	M・IT副委員長	L. ふなやま かずひろ 舟山 和宏	○
16	M・IT副委員長	L. ばば ひでき 馬場 英樹	○
17	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. しま こうじ 島 孝治	○
18	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. さとう くひこ 佐藤 邦彦	○
19	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. てらなか まさたけ 寺中 賢武	×
20	平和ボスター・コンテスト 副委員長	L. まつなみ まさゆき 松並 正幸	○
21	第1R 地区MIT・YCE委員	L. まつざき まさゆき 松崎 正幸	○
22	第2R 地区MIT・YCE委員	L. きたはし ひろし 北橋 完	○
23	第3R 地区MIT・YCE委員	L. かとう れいいち 加藤 礼市	○
24	第4R 地区MIT・YCE委員	L. ひがしら よしゆき 東原 義幸	×
25	第2R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委)	L. はやかわ なおひさ 早川 直久	×
26	第3R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委)	L. まつもと みつのぶ 松本 光伸	×
27	第3R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委)	L. なかはら ひろゆき 中原 弘之	○
28	第4R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委)	L. まつだ はじめ 松田 肇	○
29	第4R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委)	L. みやじま みづぐ 宮島 貢	○
30	第4R・第3Zゾーン委員 (兼LCIF委)	L. まつもと たかゆき 松本 孝幸	○
31	第5R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委)	L. ためひろ ひろし 為広 裕司	○
32	第5R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委)	L. いいだ まもる 飯田 守	○
33	長期計画リサーチ委員	L. にのみや ゆういち 二宮 雄一	○
34	長期計画リサーチ委員	L. さとう けんじ 佐藤 健治	○
35	長期計画リサーチ委員	L. いしむら よしゆき 石邑 義幸	○
36	地区会計監査委員	L. さびしろ やまと 琳代 靖人	○
37	地区会計監査委員	L. おのの てつや 小野 哲也	×
38	運営委員長(副幹事)	L. おおもり かずみち 大森 一道	○

キャビネット会議総出席数 72名

33名のうち、欠席2名

第二回キャビネット会議次第

	司会:運営委員長 L.	おおもり かずみち 大森 一 道	
1 開会宣言並びに閉会ゴング	地区ガバナー L.	おおしま なおひさ 大島 尚 久	
2 出席者の紹介	運営委員長 L.	おおもり かずみち 大森 一 道	3頁
3 物故会員への黙祷	運営委員長 L.	おおもり かずみち 大森 一 道	4頁
4 地区ガバナー挨拶	地区ガバナー L.	おおしま なおひさ 大島 尚 久	6頁
5 副地区ガバナー挨拶	第一副地区ガバナー L.	ひろせ ひろと 広瀬 寛 人	7頁
	第二副地区ガバナー L.	やなぎさわ ゆか 柳澤 豊	7頁
6 報告事項			
報告第1号 :複合地区各種會議	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏 幸	9頁
報告第2号 :331複合地区 2024年度決算・2025年度予算 各種	CAB会計 L.	おおつ こうぞう 大津 幸 三	111頁
報告第3号 :令和5、6年度 旭川医大アイバンク 事業報告	CAB会計 L.	おおつ こうぞう 大津 幸 三	119頁
報告第4号 :会員並びにクラブ活動状況報告集計表	CAB会計 L.	おおつ こうぞう 大津 幸 三	130頁
7 審議事項			
議長就任	地区ガバナー L.	おおしま なおひさ 大島 尚 久	
議案第1号 :第72回地区年次大会要綱(案)	地区大会委員会委員長 L.	たかせ つとむ 高瀬 力	133頁
議案第2号 :第72回地区年次大会取引金融機関(案)	地区大会委員会委員長 L.	たかせ つとむ 高瀬 力	136頁
議案第3号 :第72回地区年次大会議事規則(案)	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏 幸	137頁
議案第4号 :次期地区役員・委員推薦要項(案)について	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏 幸	140頁
議案第5号 :次期地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏 幸	141頁
議案第6号 :次期第一副地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏 幸	144頁
議案第7号 :次期第二副地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏 幸	147頁
議案第8号 :331-B地区キャビネット会則変更について	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏 幸	150頁
議案第9号 :地区キャビネット慶弔既定の変更について	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏 幸	153頁
提出議案 :地区内クラブより提出議案	CAB幹事 L.	きむら ひろゆき 木村 宏 幸	155頁
8 地区GMTコーディネーター報告	L.	やぶき さだお 矢吹 定夫	159頁
9 地区GETコーディネーター報告	L.	むらやま あきら 村山 聰	159頁
10 地区GLTコーディネーター報告	L.	しょうじ やすたか 小路 泰孝	160頁
11 地区GSTコーディネーター報告	L.	さくらい まさと 櫻井 正人	160頁
12 地区LCIFコーディネーター報告	L.	さかもと ひし 坂本 齐	161頁
13 地区WYPTコーディネーター報告	L.	さのした ひろゆき 木下 裕幸	161頁
14 各委員会報告			
長期計画リサーチ委員会	委員長 L.	いとう たかし 伊東 隆志	162頁
地区大会委員会	委員長 L.	たかせ つとむ 高瀬 力	162頁
会則・コンプライアンス委員会	委員長 L.	たかはし てつや 高橋 哲也	162頁
国際大会・国際協調・LCIF委員会	委員長 L.	いしだ けんたろう 石田 健太郎	163頁
献血・献眼・薬物防止委員会	委員長 L.	さいとう しゅうじ 齋藤 修嗣	163頁
レオ・青少年委員会	委員長 L.	ふじい よしかず 藤井 芳和	163頁
YCE委員会	委員長 L.	おのでら かずし 小野寺 一史	164頁
M・IT委員会	委員長 L.	うめだ きんや 楢田 欣也	165頁
オセアルフォーラム特別委員会	委員長 L.	すぎもと たかひで 杉本 隆英	165頁
平和ポスター・コンテスト委員会	委員長 L.	よしおか こうじ 吉岡 幸二	165頁
アラート委員会	委員長 L.	あさの けいいち 浅野 敬一	166頁
公益財団法人 日本ライオンズ特別委員会	委員長 L.	やなぎさわ ゆか 柳澤 豊	166頁
献血運動推進委員会	委員長 L.	おおしま なおひさ 大島 尚 久	
15 質疑及びその他	運営委員長 L.	おおもり かずみち 大森 一 道	
参考資料 : YCE参考資料 ・・・YCE-02-1, YCE02-2			168頁
331-B地区献血運動推進費積立金運用規程(2025年8月承認)			170頁
2025-2026地区及びクラブシェアリング交付金申請可能額更新のご案内			171頁
16 閉会宣言並びに閉会ゴング	地区ガバナー L.	おおしま なおひさ 大島 尚 久	

2025年度 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区 第二回キャビネット会議議事録

- 日時： 2025年11月8日 15:30～17:30
- 会場： アクアベールくしろ
- 司会： キャビネット運営委員長 L大森 一道

1.	開会宣言並びに開会ゴング	地区ガバナー L大島 尚久
2.	出席者の紹介	運営委員長 L大森 一道
3.	物故会員への黙祷	運営委員長 L大森 一道
4.	地区ガバナー挨拶	地区ガバナー L大島 尚久

皆さんこんにちは、遠いところまた雪が降り足元が悪い中、こんなに多くの皆さんにお集まりいただきまして誠にありがとうございました。

まずは、第1回キャビネット会議の後に、私たち公式訪問をさせていただきました、本当に温かくお迎えいただいて感謝しております。

その時に説明が足りなかつた部分もあったかなとも思いましたが、その後に諮問委員会で、お話を聞いてその影響を受けて、クラブとして動いたという報告を頂き、感心し感謝しているところでございます。

また10月23日から26日まで行われましたオセアルフォーラム札幌、詳しくは杉本特別委員長からお話しがあるとは思いますが、1万人を超える参加がございまして、成功であるということは、今は言えませんが、黒字にはなりそうとの事で安堵しているところでございます。

また参加した皆さんには、非常に充実していたという話を聞いて、良かったなと思っております。ただ残念ながら、実際に参加出来ないにもかかわらず、登録料をお支払いいただいた方も、いらっしゃるとの事でした、そちらの方々にも感謝申し上げます。

キャビネットの事業に関しましても、皆様方のご協力で順調に推移しております。後ほど担当の委員会から詳しく報告があると思いますので、よろしくお願ひいたします。

挨拶も終わりになりますが、後ほど議題に上がります LCIF の寄付について、三役スクール、キャビネット会議などの時に、半強制的或いは強要があったとのご指摘があり、不快な思いをされた方がおられたということでございます。ここで責任のある者として深くお詫び申し上げます。申し分けありませんでした。

本日も LCIF のスタンドを立たせていただき、懇親会でも寄付をお願いするわけでございますが、ライオンズらしく品よくお願いしたいと思いますので、どうぞ宜しくお願ひいたします。

結びとなりますがこの会議が、充実したものとなり、そして明日からのライオンズクラブ活動が充実したものとなることを祈念いたしまして、私からの挨拶と致します。本日のご出席誠にありがとうございます。

5-1 副地区ガバナー挨拶

第一副地区ガバナー L 広瀬 寛人

皆様、こんにちは。第一副地区ガバナーの挨拶として、要録7ページに私の思いを記載させていただいております。ご一読をいただければと思います。

それ以外の部分として、私も今、大島ガバナーがお話をされていましたが、LCIF副コーディネーターという立場からも、お詫びを申し上げたいと思います。私は、常々いろんなところでお話をしますが、大きな組織だとか、歴史の長い組織になると、目的と手段が逆さまになってしまふ、ということを皆さんもお聞きすることができます。ライオンズクラブの目的といいますのは、奉仕をする、ウィサーヴ、これが第一であります。奉仕をするために奉仕する仲間を増やそう、奉仕をするためにその財力を集めよう、これは、目的のための手段なのですけど、この手段の方が目的になってしまふことが往々にしてあります。

今回は、先ほど大島ガバナーもお話しされたように、そこに対しての配慮が足りない部分がありました。これは私の副コーディネーターとして本当に深く反省することであります。今後はその部分を十分に留意して、奉仕をするという目的のために、皆様に善意のご協力をいただけるよう、取り組んでまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

皆さんこんにちは、お疲れ様でございます。特に午前中から会議の方にご出席いただいた皆さんも本当にお疲れ様でございます。本日は私のクラブから 3 名のオブザーバーがキャビネット会議に出席しておりますので皆様よろしくお願ひ申し上げます。

先ほど、午前中からいろいろ会議に出席し、ゾーン・チェアパーソンの会議もございましたが、毎年思うのが、1 回目のキャビネット会議より 2 回目の会議、そして、おそらく 3 回目、4回目の方が、回を重ねる毎にそれぞれのコーディネーターの皆さん、ゾーン・チェアパーソンの皆さんも含めて、大島ガバナーの考え方を、どんどん理解して行くと、発言を聞いていて思った次第でございます。私も微力ながらも、大島ガバナーの手助けをできればと、日々努力しているところでありますが、様々なキャビネット運営があり、該当年度の時に自分流に、どの様に運営するか色々考えるところであります。

また、今期、私と小路 GLT コーディネーターが、公益財団法人日本ライオンズの方にも入っておりまして、先日のオセアルフォーラム札幌で、フットサルのエキシビジョンマッチがございました。コンベンションセンターの隣の会場で行い、予選会で北海道の優勝チームが、全国大会に 11 月 1 日に出場されております。更には今月 21 日に開催する日本ライオンズのセミナーがございます。これはリアルと、ウェブとの併用で開催しますが、現在 331-B 地区22名のご参加をいただいております。まだ、間に合いますので 21 日金曜日 13 時から、2 時間半ぐらいのセミナーでございますので、ウェブでご参加できる方がいらっしゃいましたらよろしくお願ひいたします。

大島ガバナーの背中を追って、今後も精進して行きますので、よろしくお願ひ申し上げ、第二副地区ガバナーの挨拶と致します。

6. キャビネット報告

キャビネット幹事 L木村 宏幸

報告第 1 号：複合地区各種会議

キャビネット会計 L大津 幸三

報告第 2 号 : 331 複合地区 2024 年度決算・2025 年度予算各種

報告第 3 号 : 令和 5、6 年度 旭川医大アイバンク 事業報告

報告第 4 号 : 会員並びにクラブ活動状況報告集計表

質問なし

7. 審議事項

議長就任

地区ガバナー L 大島 尚久

議長は定刻になり出席状況を確かめ、定足数をみたしており本会議は成立した旨を述べ開会を宣言した。

議事録作成人及び署名人の氏名

議長は、議事録作成人に運営委員長 L 大森一道を指名し、議事録署名人にキャビネット幹事 L 木村宏幸、キャビネット会計 L 大津幸三を指名した。

議案第 1 号 : 第 72 回地区年次大会要綱 (案)

地区大会委員会委員長 L. 高瀬 力

議案第 2 号 : 第 72 回地区年次大会取引金融機関 (案)

地区大会委員会委員長 L. 高瀬 力

議案第 3 号 : 第 72 回地区年次大会議事規則 (案)

C A B 幹事 L. 木村 宏幸

議案第 4 号 : 次期地区役員・委員推薦要項 (案) について

C A B 幹事 L. 木村 宏幸

議案第 5 号 : 次期地区ガバナー立候補者届出について

C A B 幹事 L. 木村 宏幸

議案第 6 号 : 次期第一副地区ガバナー立候補者届出について

C A B 幹事 L. 木村 宏幸

議案第 7 号 : 次期第二副地区ガバナー立候補者届出について

C A B 幹事 L. 木村 宏幸

議案第 8 号 : 331-B 地区キャビネット会則変更について

C A B 幹事 L. 木村 宏幸

議案第 9 号 : 地区キャビネット慶弔既定の変更について (議案取り下げ)

C A B 幹事 L. 木村 宏幸

すべての議案は原案通り承認

提出議案　　：地区内クラブより提出議案

【提案】第1R第1Z 釧路ライオンズクラブ

[LCIF スタンドや、懇親会での寄付の強要について]

反強制的な寄付の強要が多々見受けられてきて回数が増える度に金額の要望も増えてきて度が過ぎてきている。場を盛り上げることは理解できるところはあるが、それによって会議や懇親会の出席減少をはじめ会員の退会や入会にも影響が出ると考えます。寄付は利他の心があつてする行動です。嫌々仕方なく寄付することは本当に良いことなのでしょうか。

今後も続けていくのであれば、その寄付金として集まったお金は「誰が」「いくら」寄付をしたのかを明確にし、適正に管理し、個人の実績にすべきだと考えます。その管理によって、LCIF のことを理解や賛同していなかった者の意識が芽生えたり、個人に報告することによって更に意識が高まるきっかけにもなると考えます。また、LCIF への寄付として受け付けた証拠が、LCIF が厳しい監査を行っているという主張にコミットし、より厳しい財務管理につながる一助になると思いますので、是非、検討していただきたい。

【回答】キャビネット幹事 L木村 宏幸

[釧路ライオンズクラブの提案についての回答 地区ガバナーL大島 尚久]

LCIF スタンドや、懇親会での寄付の集め方に、問題があったというご指摘でございますので、その事によって、不快な思いをした方に対して、深くお詫び申し上げます。せっかくの楽しい懇親会が台無しになってしまふだけでなく、ライオンズクラブそのものや、LCIF への寄付に対しても、嫌悪感を持つてしまわれるの本末転倒かと思われます。今後は LCIF に対する理解が深まり、強制ではなく、進んで寄付をしていただけるよう、関係役員一同、活動していく所存でございます。

後段の「寄付金は適正に管理して個人の実績にすべき」という、ご指摘に異を唱える方は皆無かと考えます。しかしながら、募金箱に頂いた金額を記録しておき、のちに、個人名でキャビネットから LCIF に送金するのは、現実的に難しいと思われます。都度、全員の会員番号を調べ、ライオンズレートに換算する手間や、送金する際の振込手数料がかかる事がネックになてしまうからです。従って、お金をまとめてキャビネットから、一括送金する方が現実的かと思われます。ただし、いつ、何処でいくら集まつたかを、明示するのは必然です。結局のところ、個人の実績として記録するには、クラブから個人名で送金するのが、最もよろしいかと思われます。

【その他】質問及び意見

- ・ L 浅野敬一アラート委員長

この件につきまして、東京、名古屋など、このような様々な会議に私は出席していますが、必ず LCIF への募金、寄付があります。払いたくない人は払いません。でも、気持ちのある人は払います。それで、ここのどこに強制的っていうのがあるのかわかりません。強制的にお前払え！お前、絶対出せよ！なんてことがあったのでしょうか？

- ・ L 木村 宏幸キャビネット幹事

おそらく、浅野ライオンが居ない時なのか、見ていない時なのかなと思います。懇親会の場で煽るというか、懇親会の場のマイクパフォーマンスで、我々もノリでやってしまったところがありましたが、今回、指摘され考え直してみれば、不快に思われたんだという事で、一度回答させていただいております。おそらく浅野ライオンが見られてないときではないかなと思います。

- ・ L 浅野敬一アラート委員長

LCIF って嫌々やるものではない、自ら進んでやるものだっていうのは間違いないです！でも釧路 LC さんはそういう風に思った場面があった、一瞬あったんだと思うんです、そういう場面を無くすようなやり方がいいと思います。

今まで集めてきたドリンクスタンドで 1,000 円でコーヒーを一杯入れてもらい、その 1,000 円がどこの誰？って言うのをわかるようにするのは多分無理なんです。キャビネットから一括するのがいいと思います。普段 PMJF とか 100 \$ 献金とかを個人できちんとやれば、それは個人の成績になるですから自己満足の世界になりますが、これはこれ、それはそれで分けて寄付することに問題はないと思います。

8. 地区GMTコーディネーター報告

L 矢 吹 定 夫

地区GMTコーディネーターの矢吹でございます。要録の 159 ページ、このままの内容なのではございますが、331-B 地区の 2025 年度 9 月末現在の「会員動向集計表」を作成しました。

また「SWOT 分析回答書のまとめ」と「行動計画ひな型」も再度ですが、釧路キャビネットより各クラブにメールにて送らせていただいております。

そこで、ゾーン・チェアパーソンには、第 2 回ガバナー諮問委員会において、各クラブの全てのライオンに「行動計画」を作成する様、お願いしてください。

といつても難しいと思うのでなるべく三役にはお願ひしたい、こういうことをやっているんだ、という事を各会員にお知らせしてください。

「SWOT分析回答書まとめ」と各クラブで作成した「SWOT分析」を参考として「強みを伸ばし、弱みを克服する行動計画」を作成していただく、ゾーン・チェアパーソンには、担当ゾーン内の「会員動向集計表」の各クラブの「年齢構成と会員数」と自治体ごとのパーセンテージも出ていますので、これを特に注視してください。解散の危険性があるクラブに対しては退会抑止をしていただきたい。もしくは会員増強の何かしらのお手伝いをしていただきたい。

「素晴らしいアクティビティを実践し、市民に感謝され、自らの感動と達成感こそが会員拡大につながる。」と思っています。大島ガバナーの方針は各クラブ純増1名であります。331-B地区のクラブ数は66クラブですから、66名の純増、それと女性会員の拡大という事も、国際会長はおっしゃっています。お願ひばかりではございますがどうぞよろしくお願ひいたします。

9. 地区GETコーディネーター報告

村山 聰

GETの村山でございます。第1回目のキャビネット会議において、新クラブ結成に向けての取り組み方を、説明させていただいたところであります。

また、各ゾーン内でZCを中心に、GATを作っていただき新クラブ結成及び会員増強の取組を、強化して頂いているところであります。

今回の会議が終わった後、2回目の諮問会議を開催されると思いますので、その時にGATのチームでどんな行動をしたか報告していただきたいと思っております。また、GAT会議をいつ開くのか、という話がありますが、クラブの理事会の後にちょっと時間を作って頂いて、別枠でGAT会議をしましょう、という流れを作って頂いて、全員で会員増強の意識を高めていただきたいです。

会員の動向に於いては9月末現在のデータでは1,858名であり、3か月で42名の増員であります。10月に入ってまだ1名の増員というので、ちょっとペースダウンしたかなと思っております。

私のミッションは、年内に2つの新クラブを結成するという役割でありますが、まだまだ結果が出ていないという状況であります。現在、4Rの諮問委員会の中で、新クラブの形態・結成人数・会費等について説明をさせていただき、取り組みをしていただいているところであります。特に2Z内に新クラブを1つ作ることを目標に、行動をしているところであります。現在、名寄・下川・中川で5名の会員候補に内諾を頂いているところでありますが、20名にはかなり厳しいのが現状です。

並行して名寄大学に訪問させていただき、ボランティアサークルを中心に、情報を収集しているところであります。また、大学内のSO(スペシャルオリンピックス)サークルにも声をかけているところであり、初のキャンパスクラブ結成に向けて取り組んでいるところです。

新クラブを1つ作るにも大変苦慮しているところでは有りますが、最終的には会員が増えることが一番の目標ですので、引き続き皆さんには大島ガバナーが提唱しているASK2の取組をよろしくお願ひします。

10. 地区GLTコーディネーター報告

L小 路 泰 孝

第2回キャビネット会議での報告を申し上げます。今期、GLTコーディネーターとして2つの目標を立てております。

1つ目、ライオンポータルの更なる利用拡大です。現在、ライオンポータルは、ログイン、Learn内のコンテンツ活用を目指しておりますが、操作方法や、自動翻訳機能等での誤表示など、まだまだ多くの課題があり、オセアル調整事務局へ幾度か、質問をさせていただいておりますが、全世界での使用を前提としており、ローマ字表記が標準であり、日本語に変換されるコンテンツでも、文脈に不自然な部分がありまして、私自身でも操作に苦慮することがあります。ですが、国内の会議等では、ライオンポータル内の資料を参照する場面もたくさんあり、今後もそのような機会があると思いますので、キャビネット会議等に参加されている皆様には、今後もライオンポータルのご活用をお願いいたします。

そして2つ目が、GLTセミナーの開催についてですが、こちらは大島ガバナーの多大なるお力添えをいただきまして、今の予定では来年の3月7日土曜日、13時半から15時の1時間半で、GLTセミナーを開催し、講師としてはライオンズクラブ国際協会の濱野前国際理事に、講話をいただくという内容でお話を進めております。

非常に貴重な機会ではあると思います。年明け、1月以降に、各クラブの方にセミナー参加のご案内をする予定でございますので、ゾーン・シェアパーソンをはじめ、各クラブの皆様には、ぜひ多くの参加をお願いしたいと思っております。

こちらZoomでの参加という形になりますので、より多くの方にこのZoomでのセミナーの受講をお願いできればと思っております。以上です。

11. 地区GSTコーディネーター報告

L櫻井正人

地区GSTコーディネーターの櫻井です。第一四半期が経過いたしましたが、7月より始まりました献血250万mlキャンペーンに関しましては、10月末現在で約100万mlに達しております。詳しい数字につきましては齋藤委員長の方から、説明があるかと思います。引き続きZC、各クラブにはご協力お願い致します。

また地区LCIF交付金の事業も着々と進んでおり、留萌、網走、釧路の3か所での海洋プラスチックゴミによる海洋汚染問題の講習も終了しており、各リジョンにおかれましては、合同事業の海岸、公園清掃の報告もいくつか受けております。これからは寒くなり、冬の季節にもなりますので無理をせず、雪解け頃や少し暖かくなつてからの活動で構いませんので、改めてよろしくお願い致します。

次に薬物乱用防止教育認定講師養成講座ですが、予定通り11月29日14:00より釧路にて開催いたします。すでにご案内しておりますが、今回、初の試みでZOOMでの参加も受け付けました。色々と条件等ございますが、不備のないよう、準備を進めていきますのでよろしくお願いを申し上げます。

そして最後に、10月6日に、各クラブの方にご案内しているかと思いますが、中古メガネリサイクル事業のご案内をしております。以前までは、メガネ1つに対して50円の負担を各クラブにお願いしていましたが、今期限りキャビネットの方で、全額を負担したいと思っております。例えば諮問委員会等でお話をさせていただいて、ゾーン・チェアパーソンの方にお預けをして、第4回キャビネット会議までに、こちらの方に持ってきていただけたら、送料もかからずできるのかなと思いますので、こちらの方のご協力もよろしくお願いいたします。要綱につきましては、ご案内した通りになっています。壊れていない度の入ったメガネということで、こちらの方をよろしくお願いをいたします。私の方からは以上でございます。

12. 地区LCIFコーディネーター報告

L坂本齊

今年度の大島ガバナーの基本方針に基づき、LCIFに対する取り組みといたしまして、331B地区では、年度目標を15万ドルに設定し、寄付の増強を推進しております。7月から10月までの期間において、累計85,247ドル。現在、86,007ドルの寄付を達成し、年間の目標に対して52.8%の数字となっております。これは、地区内の各クラブにより、開催されたセミナーや例会を通じ、地区コーディネーター、地区副コーディネーター、ゾーン・チェアパーソン、ゾーン委員兼LCIF委員の皆様のご協力のもと、各クラブ、会長、

幹事、会計、理事、会員の皆様が、それぞれの立場で尽力をくださったその成果であり、その熱意と行動に対し、心より感謝を申し上げます。

この LCIF の寄付を何に使っているのかということですが、まず地区シェアリング交付金は、海洋プラスチックゴミによる海洋汚染問題について、小学生への啓蒙活動ということで 7,677 ドルを交付されております。その他、クラブシェアリング交付金、これは寄付が 5000 \$ に達したクラブが交付金の申請をいたしまして、使用しているところもありますし、もう事業が終わっているところもあります。これが 6 件ございます。この総額が、日本円で 1,690,721 円交付されております。

会員の皆様に LCIF の寄付がどう使われているのかと聞かれますが、きちんと申請さえすれば、このように気持ちよく使えるような交付金になっておりますので、是非、これからも、限られた時間と環境の中ではありますが、LCIF への理解と協力を広げ、今後も皆様と一緒に、さらなる共感と友愛支援の場を、世界の人々に届けてまいりたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。以上です。

13. 地区WYPTコーディネーター

L木 下 裕 幸

こんにちは、地区 WYPT コーディネーターの L. 木下です

各会員の皆様には奉仕活動にご尽力されておりましたことに、敬意を表する次第です。

さて、ガバナー公式訪問も無事終了し、各クラブには HD1000 のドネーションキットが届いたと思いますが、これから各地におきまして、キットをお配りいただき奉仕の輪を広げていただきたいと思います。

また、実績でございますが 10 月末現在、331-B 地区のヘアードネーションは 56 件でございました。このうち約 8 割が北見白樺ライオンズクラブさんです。他のクラブの皆様にも、ご協力をいただいて徐々に増えてきているという状況です。

ヘアードネーションキッドはお配りしましたが、美容院に届いているかは、把握できておりません。しかしながら、先ほどゾーン・チェアパーソンの皆様にもこれからどんどん配るという、心強いお言葉をいただきまたので、実績を報告いただきたいと思います。

もう一つは、女性会員の加入促進ですが、今回のオセアルフォーラム札幌において、女性会員一名以上の入会で、表彰状と国際会長と一緒に写真が撮れるという、特典がございました。実績としまして 11 名の増員がございました。

家族会員（特典会員）も含めての増員でしたが、周知されていなかった面もありまして、半分くらいのクラブの方が表彰状を受け取っていませんでした。後日、キャビネットへ届くと思いますので、キャビネットからクラブへお送りしたいと思います。ヘアードネーション 1000 と、女性会員の入会促進をお願いして活動報告といたします。

14 各委員会報告

◆長期計画リサーチ委員会

委員長 L伊 東 隆 志

まず一番目の、副ゾーン・シェアパーソン制について、大島ガバナーより諮問がございました。1回目、2回目とキャビネット会議に集まりまして議論したところ、この委員会の中では、すべて否定的な意見が出されております。さらに、組織の縮小を考えるべきである。要するに会員がどんどん減っている状態で、キャビネットの組織が大きくなっていくのはおかしいのではないか？と、組織 자체を小さくすべきである、という意見も出ております。

それから、2番目のキャビネット事務局、事務局員の固定化については、美幌キャビネットの時に、事務局の場所の固定化というものは、否決されております。大島ガバナーは、事務局員の固定化を検討していただきたい、ということでしたが、その時の状況、いい人がいる、ということでそれぞれ引き継いできた、というのが今までの経験でございました。今後もその時の、いい人が、私がやるよといった時に、継続していくというふうに思いまして、ここで委員会での決め事として、後任は誰が良いのかと探すというのは、なかなか難しい状況であると思いますので、その時のガバナーの考えによって、推進していくものではないかと私の思っているところでございます。

3番目のガバナー候補の発掘、特に3リジョンについては、一歩進んで、全会長が集まった会議が運営され、その中でガバナーを受けるということはどういうことなんだろう、ということが、真剣に話し合われたそうでございます。一歩、本当に進んだ状態になっていると思いますので、3リジョンの方々には、もう一歩進んでいただけるように、お願いしたいと思います。以上です。

◆地区大会委員長

委員長 L高 瀬 力

地区年次大会の方からお願いです。審議事項にて、ご承認していただきましてありがとうございます。週明けから予備登録をさせていただきます。
締め切りですが、極力早くご返答いただければありがたいと思います。

また支部会員、家族会員（特典会員）の皆さんも、ぜひお誘いの上、ご登録、
釧路の方へ来ていただきますようよろしくお願ひいたします

◆会則・コンプライアンス委員会

委員長 L高 橋 哲 也

会則コンプライアンス規定について、現在、331 複合地区におけるコンプライアンス委員会において、日本ライオンズ会則委員会にて作成された、規定案に沿って、331 複合地区に合うように、改定して作成中でございます。これにつきましては、近日中に作成の上、331 複合地区年次大会にて決議をいただくべく、第 2 回カバナー協議会へ上程し、決議をしていただくことを報告させていただきます。委員会からは以上であります。

◆国際大会・国際協調・LCIF 委員会

委員長 L石 田 健 太 郎

まず国際大会についてですけれども、来年香港で開催されます国際大会の登録が、もうすでに始まっております。日程は 2026 年 7 月 3 日から 7 月 7 日です。ライオンズの国際協会のホームページに、香港大会のご案内動画が掲載されていますので、是非ご覧いただければと思います。また本日皆様にお配りしておりますチラシに、早期登録が 1 月 31 日までとなっておりますので登録料に関しては、早期登録がかなりお得なので、そちらをご覧いただければと思います。行きやすさもありますので、多くのメンバーで参加したいと思っております。

LCIF についてですが、皆様にご協力いただいております LCIF スタンドは、キャビネット会議、ガバナー公式訪問等で行っている懇親会寄付を合わせまして、昨日時点で 966,887 円が集まっております。あと数回となりましたが、節度を持って取り込んでまいりたいと思いますので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

◆献血・献眼・薬物防止委員会

委員長 L齋 藤 修 嗣

献血 250 万 ml キャンペーンの中間報告ですが、10 月までの累計は回数 149 回、採血人数 2749 人、採血量が 1,091,800ml でございます。

薬物乱用防止教育認定講師養成講座でございますが、準備を進めさせていただいています。11 月 18 日に ZOOM に向けてリハーサルを行いたいと思います。初めての試みで手探りの状態でございますが、何とか成功させたいと思います。

皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

◆ レオ・青少年委員会

委員長 L 藤 井 芳 和

オータムキャンプの参加者は、レオが全員で 11 名。それからキャビネットと、協力委員を合わせて全部で 24 名の参加をいただき、9 月 27、28 日の 2 日間、開催をさせていただきました。非常に親睦が取れた時間を過ごしたと思っています。

今日の会議の中で、レオクラブの活動について提案を二つ。

一つはレオクラブと、協力スポンサークラブ、その双方の関心を高めるということを目的に、レオクラブにも状況報告をする機会を与えてはどうだということで、例えば、各諮問委員会で、オブザーバーとして出席をして、レオの活動について報告をさせてもらったり、また各クラブと、今のライオンズの全体の動きがどういう状況になっている、というところも情報共有をしながら、双方の関心を高める、という機会を提供するというのが一つ。

それからもう一つは、木下コーディネーターから、ヘアドネーションアクティビティの件で、髪の毛を提供していただける世代の方々と、レオの世代が感覚的に近いと思うのでその活動アクティビティをより活発にできるのではないか、レオクラブに、そのヘアドネーションの役割を、お願いしてはどうかということ。この 2 つを今日の委員会の中で提案をさせていただき思いました。

◆ YCE 委員会

委員長 L 小 野 寺 一 史

YCE 委員長の小野寺でございます。2025 年、夏季 YCE 交換事業のご報告をさせていただきます。7 月 10 日のフィンランドへの派遣の第 1 陣、スイス他欧州からの来日から始まり、8 月 29 日イギリスからの生徒の帰国で無事終了いたしました。合同キャンプにつきましても、猛暑の中のキャンプでございまして、受け入れ宿泊先の環境、その他課題が少し浮き彫りになったキャンプではございましたが、我がリジョンから標茶高校からの生徒 6 名も、元気に来日生と交流を深め、大変有意義なキャンプだったと総括しております。日本全体で 43 カ国から 95 名の生徒が来日いたしまして、日本からは 38 カ国に 76 名の生徒を派遣して交流を深めました。詳細につきましては、第二回キャビネット会議要録の末尾の方に 168 ページと 169 ページに記載されておりますので、ご覧いただきたいと思います。

冬季・春季の派遣・受け入れ事業についてですが、先日ニュージーランドから急遽 1 名の受け入れをお願いしますという連絡が入りました、皆さんに打診したところですが、334 地区の打ち合わせがちょっとうまくいってなかったようで、キャンセルということで、皆様方に大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫びしたいと思います。

先程、来年に向けての委員会で、各リジョンの YCE 委員の方々とご相談した中で、大変嬉しい報告が一つございました。

かねてから私が提案しておりました、基金を含めた合同委員会を、1 リジョンで組織として委員会を作っていますが、2 リジョンでも作りたいということで、ご発言がありました。

あと来年に向けて、11 月 6 日全クラブに派遣・受け入れに関わるアンケートを送信しました。来年の事業をより良いものにするために、これをもとに複合の委員会に持ち帰りまして、人数の配置等を相談しながら決めていきたいと思いますので、リジョンに帰りましたら、委員の皆様方、ご検討のほど、よろしくお願ひいたしたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

◆M・I T 委員会

委員長 L 棟 田 欣 也

当委員会で作成いたしますエコー誌ですが、8 月、10 月号の発行を終えまして、現在 12 月号の準備をしております。12 月中旬には各クラブへ到着予定で進めていますので、ぜひ見ていただければと思います。内容としては、各クラブの活動報告、キャビネット行事などの情報を明るく楽しく掲載させていただいております。各クラブの皆様には引き続き、伝えたい情報と記事のご依頼をさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

あと内容の方ですが、今回、エコー誌はフルカラーで作成しております、とてもスッキリ見やすくなっているかと思います。ぜひ皆様しっかりと見ていただければと思います。

また、エコー誌の裏側に釧路キャビネットのホームページが見られるように QR コードをつけております。今、パソコンから携帯という時代も流れています。携帯電話等で QR コードを読み込んでホームページも見られますので、ぜひ見ていただければと思います。

ホームページの内容ですが、3 ヶ月に一度トップページの写真を変更したり、エコー誌、要録、議事録を早めに更新していきたいと思っています。また動画等も取り入れていきたいと考えていますので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

◆オセアルフォーラム特別委員会

委員長 L 杉 本 隆 英

10 月 23 日から 26 日までオセアルフォーラム札幌が 41 年ぶりに開催され、多数のご参加をいただいて終了いたしました。

331-B 地区としましても登録者数が 400 名を上回り、目標を達成することができ、無事に終了することができました。

また、各副委員長にも協力をいただいて、本当に盛大に終わることができたと思っております。

まだはつきりした数字ではないですが、全体的に 10,400 名という数字で、目標にはちょっと届かなかったと思いますし、決算が終わっていませんので、はつきりはしていませんが、無事に終わることができたという報告は受けております。

日本で 6,940 名、各国からも参加されて一番多かったのは韓国で、1,471 名ということです。参加された方は分かっていると思いますが、かなりな人数で、盛大に開催されました。

また、登録をしていただいて参加できなかった方もいますけれども、無事に 331-B 地区としては成功したと、私どもガバナーとお話しさせていただいております。各副委員長にも本当に協力いただいて、皆さんここにいらっしゃるメンバーの方々にも協力いただいた大成功だと思っております。

次期がマレーシア、ペナンというところで開催されます。またいろいろと登録等、始まると思いますけども、その時には協力いただいて、みんなで盛り上げていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

◆平和ポスターコンテスト委員会

委員長 L 吉 岡 幸 二

平和ポスターコンテスト 11 月 15 日締め切りまでの応募ですが、今日、現在まで 48 点、事務局の方に届いております。内訳といたしましては、富良野ライオンズクラブ 10 名、釧路みなどライオンズクラブ 1 名、根室ライオンズクラブ 1 名、網走桂ライオンズクラブ 1 名、釧路ぬさまいライオンズクラブ 35 名の計 48 名の作品を、事務局に預かっております。まだ締め切りまで 1 週間ありますので、ご応募される方はお早めにお願いいたします。

集まりましたらこの中より、ガバナーはじめキャビネット 3 役、平和ポスター委員会の選考を行いまして、複合の方に最優秀賞として一点、提出することになります。

その後、各応募されたものは、それぞれ賞を付けさせていただき、地区年次大会に展示いたします。今のところ、賞に関しては、先ほどのキャビネット最優秀賞を一点、優秀賞 5 点、佳作 10 点、その他参加賞というふうに考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

◆アラート委員会

委員長 L 浅 野 敬 一

このアラート委員会出来てから、初めて会議を設けていただいて、非常にありがたかったです。

アラート委員会は、毎回やってること、言ってることも一緒なのですが、社会福祉協議会との提携を早く結びましょう、とずっと言い続けています。地域ごとの達成率は、意外と良く 331-B 地区も 50% を超えています。今後は地域に社会福祉協議会がないクラブの町村をどう取り込んでいくか、ということが大事かと思います。

千島海溝沖地震における予想被害状況は以前、新聞に出ていました、釧路に地震、津波が発生して 14 万人ほど…防災管理を行なって、やっと 8 万人ぐらいには減少しますが、死亡する方が多いんじゃないかということです。

本日、ガバナーの方から、防災準備交付金の申請をしましようとお話をいただきました。日本円にして約 200 万円ほどの備蓄ができますが、25%は自費で賄い、あの 75% が LCIF の方から下りると。その自費を先に提出してから、LCIF の方から 75% 下りるということです。これは 2 年に 1 回しか使えませんので、今年使ったら来年は使えないということになりますが、今、喫緊に迫っているのは釧路、網走、稚内、などの沿岸部だと思います。先日、ガバナーからも相談を受けまして、非常にいいのではないかということで、私も賛成をいたしたところでございます。これがいつ決まるのか私もわかりませんが、決まっていただきたいなと思います。

また、来年の 3 月 13 日に全国アラートフォーラムが大阪で行われます。今回は各地区のガバナーにも呼びかけようと動いています。ガバナー、ゾーン・チェアパーソン含めて大勢の 331-B 地区から参加をいただきたいと思っております。皆さんどうぞご協力よろしくお願ひいたします。

◆公益財団法人日本ライオンズ特別委員会 委員長 L 柳 澤 豊

皆様、お疲れ様です。先ほどの冒頭、若干お話しさせていただきましたが、日本ライオンズは大きくは 2 つの事業をやっております。

全国の特別支援学校生徒のスポーツ機能としてのフットサルの大会、そしてもう 1 つは生徒の寺子屋の事業でございます。

今年で 6 年目になる日本ライオンズの内容について、B 地区内会員の皆様にはなかなか浸透されてない、というところでございますが、21 日の金曜日に ZOOM と札幌会場での併用の、日本ライオンズのセミナーがありますので、ご参加いただければ、事業内容が見えるかと思っております。

今期で 2 年目になりますが、実は皆様方の LCIF の献金が、この日本ライオンズの方にも寄付金が回っております。先般、名古屋に国際財団のオリベイラ LCIF 理事長が来日されまして、公益財団法人日本ライオンズと寄付金の誓約書の調印式がありました。日本ライオンズに LCIF から 10 万ドルが寄付されます。

これまで会員 1 人 2000 円の寄付をお願しておりますが、一般的には各事業主の名義で、何口か寄付をされるという形が増えており、法人税が非課税になりますので、意外と個人名よりも、事業主の方で寄付する件数が増えてきているのは事実でございます。

今後共ご理解とご協力をお願い申し上げます。また、時間のある時に日本ライオンズのホームページで検索していただければ、事業内容と収支等についても記載されておりますので、よろしくお願い申し上げ報告とさせて頂きます。

◆献眼運動推進委員会

委員長 L大 島 尚 久

331-B 地区の献眼運動推進委員会で、運用規定を決めるわけですが、これですとどうしても献眼運動だけに、資金を使うということになってしまうのではないかということで、これを若干変えて、幅広く事業が出来るような名称に、変更案を考えさせていただきました。

ただ 200 万円以上の大きなお金ですので、年次大会でしっかりと議決したほうがよろしいと思っております。

名称を「331B 地区献眼運動推進及び視力保護、視力回復に関わる事業積立金運用規定」と考えましたが、あまりに長過ぎるため不評でした。

もう少し考えて、わかりやすく簡略化した名称等を、次回にまた出したいと思いますので宜しくお願ひいたします。

15. 質疑及びその他

◆アラート委員長 L.浅野

「長期計画リサーチ委員会に質問です。この、1 年目、副ゾーンシェアパーソン、2 年目ゾーンシェアパーソンの 2 年にわたって活動、経験することで業務に精通する。これはすごくいいことだと思うんですが、これが一体、今年中に決まるものなのか、もしくはそうじやないのか…あとキャビネット事務局の事務局員の固定化について、固定化を検討しますということなんですか? これもいつ頃を目指してやろうとしておるのか、ちょっとお尋ねしたいと思います。」

◆長期リサーチ委員長 L.伊東

副ゾーンシェアパーソン制についてのご質問でございますけれども、これについては、委員会の中で、肯定的な意見はございません。それで、否定的であるということで、次回、ZOOM 会議なんですか? その時に、その方向性を示そうというふうに考えております。

大島ガバナーからは、そんなに早急に結論を出す問題ではないだろうということで、時間をかけても構わないというお話をいただいておりましたが、今まで 2 回の討論、議論を踏まえてですね、肯定的な話が出てこないということで、次の ZOOM 会議で参考集した

時に、これはあまり良くないのではないか、というような結論が出せそうな感じで進んでおります。

それから、事務員の固定化についてもですね、この2回の話し合いの中では、やっぱり規定を作つて、それに向かって推進するという形はなかなか難しいであろうという話が出ておりますので、これも同じように、結論はそんなに遅くも、ならないというふうに考えております。」

以上をもつてすべての議事が終了したので、議長は閉会を宣言した。

16. 閉会宣言並びに閉会ゴング

地区ガバナー L 大島 尚久

2025-2026年度 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第二回キャビネット会議議事録について、確認の上承認します。

2025年 11月14日

議長 地区ガバナー L. 大島 尚久

議事録作成 運営委員長 L. 大森 一道

議事録署名人 キャビネット幹事 L. 木村 宏幸 【押印省略】

議事録署名人 キャビネット会計 L. 大津 幸三 【押印省略】



We Serve

釧路キャビネット事務局

〒085-0031 釧路市中島町6番25号

TEL(0154) 68-5647・FAX(0154) 68-5648

E-mail: kushirocab331b@marimo.or.jp